



あ

す

へ

CPCニュース

No.248

毎月 1 日発行

平成 27 年 6 月号

平成 27 年度 理事会・通常総会開催

6月1日(月)、リーガロイヤルホテル広島(広島市)において、平成 27 年度理事会・通常総会を開催しました。理事会ならびに通常総会では、平成 26 年度事業報告、平成 27 年度事業計画等について審議され、原案どおり承認されました。

理事会・通常総会における議案のうち、平成 27 年度の事業計画に係る内容は以下のとおりです(次頁には個別事業の内容を記載しています)。



平成 27 年度 事業方針

平成 27 年度のわが国経済は、欧州や中国の経済動向の下振れ懸念があるものの、雇用・所得環境の改善や原油安による購買力の増加が個人消費を押し上げていくとともに、企業の国内への投資拡大も見込まれ、景気の回復基調が続くものと思われる。

しかし、地方では経済の好循環の実現が十分に浸透していないのが実状であり、わが国がデフレ脱却と持続的な経済成長を達成するためには、地方創生の取り組みを本格化し地方や中小企業に景気回復の波を行き渡らせなければならないと考えています。

このような経済見通しにあって、各企業・組織は、経営環境の変化を機敏に捉え、常に自らの「強み」を見極め、顧客本位に立った商品・サービスを提供することにより経営革新を行うとともに、企業経営の基盤である人材の育成を推進していかなくてはなりません。加えて、雇用形態の多様化など激しく変化する雇用環境に対応していくためには、労使の協力・協議は欠かせません。

したがって、当本部では、真に豊かな中国地域の実現に資するために、本年度も、経営・労働・学識の三者の英知を結集しながら、中国生産性本部ビジョンにある 3 つの方針を柱に各種事業を展開していきます。

方針 1. 経営革新活動の推進

◆ 変革を目指す組織(企業・団体)に対し、「顧客本位」「独自能力」「社員重視」「社会との調和」の 4 つの基本理念を基軸とする「経営品質向上プログラム」の普及推進を図るなど、活力あふれる地域社会の構築を目指し、製造業はもちろんサービス・流通産業まで含めた組織に対して、経営革新活動の提言・支援を行ないます。

方針 2. 人材育成の推進

◆ 「企業は人なり」といわれるとおり、人材は、企業・組織にとって持続的発展の基盤です。そうした人材の育成について、主たる目標を生産性向上の原動力である「知力(知識生産性＝付加価値の創造等)」の向上に置き、付加価値創造力に繋がる知識力・人間力を高める事業を重点的に提供していきます。

方針 3. 労働組合の新しいあり方への支援

◆ 公正・安心・安全が保障されワーク・ライフ・バランスを考えた真に豊かさを実感できる社会の実現のため、また社会の一員として、働きがい・やりがいなど人間性に重点をおいた労働組合活動の新しいあり方について議論を深め、必要な事業と支援を実施していきます。

平成27年度 個別事業の展開

<1. 経営品質事業>

経営品質向上プログラムは、規模の大小、製造業・サービス業・行政など事業分野を超えて活用できるものであり、本プログラムの普及促進および実践組織への支援に向けて、事業を展開していきます。

①経営品質実践セミナー

企業・組織変革への動機づけ、経営品質の本質に対する“気づき”を増進させることに主眼を置いた「経営品質実践セミナー」を定例開催します。

②アセスメントコース

組織で経営革新を進めるプロセスを推進・支援していく役割を担う「セルフアセッサー」の育成を目的とした「アセスメントコース」を開催します。

③実践組織への支援

経営品質向上プログラムを実践する各組織の実情やニーズに対応した実践支援についても、引き続き展開していきます。

<2. トップセミナー事業>

時代に対応した的確なリーダーシップとトップマネジメントの一助として、会員組織幹部等を対象とした会議、セミナー等を実施します。

<3. 人材育成事業>

①階層別能力開発事業

新入社員の社会人としての心構え、中堅社員のリーダーとしての自己改革、係長・主任の意識改革、管理者の部下育成と成果など、自己成長や役割認識の醸成につながる研修会を実施していきます。

また、採用や配置など人事管理の支援ツール「適性能力総合診断テスト」を提供します。

これに加え、企業・組織からの要請により階層別研修会を実施していきます。

②専門能力開発事業

組織のリスクマネジメントとしてのメンタルヘルス、課題解決に資するロジカルシンキング、読みこなして仕事に生かす決算書、営業、人事の実務など、実務者・管理者の専門スキル研修を

実施し、加えて、顧客に感動を与える経営を学ぶ「感動の三部作」を開催します。

<4. 労組・労使関係事業>

中国労組生産性会議等と連携し、労使共通の課題に関する講演会の支援、労働組合運動の充実に資する労組リーダー研修会等の事業を実施します。

<5. 視察団事業>

海外の社会・経済・労働事情を把握して、加盟組織の運動に活かすとともに、国際感覚の豊富な労組リーダー育成を目的に、海外視察団を派遣します。

<6. コンサルティング事業>

①受託研修・講師派遣

企業・組織内研修の企画、受託研修および講師派遣を行います。

なお、会員企業・組織における管理職、中堅社員、新入社員に対するセミナー・研修に係る当本部からの講師派遣にあたっては、会員企業・組織のニーズに応じたオーダーメイド研修を実施します。

②サービス産業等への生産性向上支援事業

中国経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構中国本部、一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会と当本部の4団体で構成している「運営合議体」の活動を中心に、中国地域におけるサービス産業をはじめとする中小企業等の生産性向上への取り組みを支援します。

また、サービス産業生産性協議会・日本生産性本部が主催する地域シンポジウムへ協力し、中国地域におけるサービス産業の生産性向上やイノベーション促進に繋げていきます。

<7. 組織・広報事業等（会員サービス事業）>

◆生産性新聞、会報「あすへ」、ホームページ等により会員に情報提供を行います。

◆会員サービス講演会「経営セミナー」を年2回開催します。

◆各種セミナー等あらゆる機会を通じて生産性運動への理解を深めていただくことにより会員の拡大を図ります。

通常総会 会長開会挨拶

6月1日の通常総会において行われた、苅田知英会長（中国電力㈱取締役社長）による開会挨拶の概要をご紹介します。

■平成 27 年度のわが国経済は、欧州や中国の経済動向の下振れ懸念があるものの、雇用・所得環境の改善や原油安による購買力の増加が個人消費を押し上げていくとともに、企業の国内への投資拡大も見込まれ、景気の回復基調が続くものと思われます。しかし、地方では経済の好循環の実現が十分に浸透していないのが実状であり、わが国がデフレ脱却と持続的な経済成長を達成するためには、地方創生の取り組みを本格化し地方や中小企業に景気回復の波を行き渡らせなければならないと考えています。

■このような経済見通しにあって、各企業・組織におかれましては、どうか、経営環境の変化を機敏に捉え、常に自らの「強み」を見極め、経営革新、人材育成を、ポジティブな思考で推進して頂きたいと存じます。

■26 年度事業につきましては、おかげさまで概ね計画通り推移いたしました。一方、当年度の会員異動につきましては、新規加入 6 会員、退会が 29 会員あり、25 年度末から 23

会員減の 323 会員となりました。退会会員のうち休会からの退会が 22 会員あり、詳細につきましては、のちほど事務局よりご説明いたします。

■27 年度事業につきましては、引き続き、真に豊かな中国地域の実現に資するために、経営・労働・学識の三者の英知を結集しながら、中国生産性本部ビジョンに沿った各種事業を展開してまいりたいと考えております。

■当地広島では、メジャー通算 79 勝を挙げた黒田投手が 8 年ぶりに復帰し、広島東洋カープの 24 年ぶりの優勝に期待が高まっています。

本総会後の講演では、広島東洋カープの元選手で野球評論家の金本知憲氏をお招きしております。

野球を通して人々に感動を与え、「鉄人」として戦い続けたその努力と忍耐の軌跡についてお話いただきます。その人柄からアニキと呼ばれ親しまれてきた金本氏の講演を是非、楽しくご聴講いただければと思います。

■中国地方で生産性運動を開始して以来、活動を継続してこられたのは、ここにお集まりの会員の皆さま、お一人お一人によるものであり、皆さま方のお力なしに、将来にわたる活動の維持・発展はありません。引き続き、ご支援とご協力を賜りますことをお願いし、開会の御挨拶といたします。



平成 27 年度

中国経営品質協議会 運営委員会を開催

5月12日(火)、平成 27 年度（第 16 期）の中国経営品質協議会・運営委員会が開催され、平成 26 年度の活動報告ならびに平成 27 年度の活動計画について討議、了承されました。今後は、この案をもって 6 月に開催される幹事会に付議し、審議されることとなります。

今年度の活動方針案などについての意見が交わされましたが、委員からは、「会員の減少に歯止めをかけ、維持していくには、実践セミナーなどの普及促進活動を行い、多くの方に参加いただく事が大事である」などの発言がありました。概要は以下のとおりです。

【平成 26 年度 活動結果】

- ◆経営品質向上活動の一層の普及啓発に向け、経営品質の本質に対する“気づき”に主眼をおいた経営品質実践セミナー（5 回、延べ 262 人参加）を実施。
- ◆組織内の経営革新を進めるセルフアセッサの養成を目的とする人材育成プログラム（3 回、延べ 18 人参加）を実施。

- ◆経営品質に係る各組織の実情に即した支援を実施。

【平成 27 年度 活動計画（案）】

経営品質向上プログラムは、規模の大小、製造業・サービス業・行政などの事業分野を超えて活用できるものであり、本プログラムの普及促進および実践組織への支援に向けて事業を展開。

◆経営品質実践セミナー

今年度は「優れた人と現場による顧客価値創造」をテーマに「経営品質実践セミナー」を定例開催。（第 1 例会は 8 月 19 日からスタートし、全 5 回を計画）

◆経営品質向上活動に向けた人材育成

「セルフアセッサ」の人材育成を目的とした講座「アセスメントコース」は、基礎編、知識編、評価編の 3 回コースを各 2 日間にわたり開催。

◆経営品質向上プログラムを実践する各組織の実情やニーズに対応した支援を継続して実施。

事業環境や市場の変化に即応しながら、顧客の視点に立った競争力溢れる強靱な経営の仕組みづくりを支援するため、中国経営品質協議会では第 16 期の活動をスタートします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

伝言板

係長・主任セミナー

～強い組織をつくる係長・主任の意識改革～

日 時：7月14日(火) 10:00～17:00

場 所：広島市文化交流会館 (広島市中区加古町 3-3)

会員参加料： 15,400 円

講 師：アクティブ経営研究所 所長

経営コンサルタント 鑄方 貞了氏

内 容：

1. 自分の人生のために仕事をしていますか？
2. 自分の長所を知ること、あなたは変わる
3. 係長・主任の本当の役割とは？
4. 部下の「やる気」をひき出す動機づけの秘訣
5. 職場の人間関係をよくする心理テクニック
6. 仕事のできる部下を育てるための指導法！
7. 自己革新できるリーダーが組織を変える！

管理職のためのメンタルヘルス対策セミナー

～組織が崩壊しないためのリスクマネジメント～

日 時：7月16日(木) 10:00～17:00

場 所：広島市文化交流会館 (広島市中区加古町 3-3)

会員参加料： 15,400 円

講 師：Y's オーダー 代表取締役 藤野 祐美氏

内 容：

1. 横這いのメンタルヘルス問題の現状：今、職場で起きていること
2. 知らないでは済まされない！ストレスと病の基礎知識
3. メンタルヘルス対策は「早期発見」が重要！
～心の不調に気づくためのチェックポイント～
4. 心の不調を起こした部下への正しい対応
5. 職場復帰のための具体的な方法
6. 「予防」のために上司、職場がすべきこと

経営セミナー (第1回)

～社員と顧客を幸せにする強い経営～

日 時：7月23日(木) 14:00～17:00

場 所：広島国際会議場 (広島市中区中島町 1-5)

会員参加料： 2名様まで各回無料

(3名様以上1回につき 8,700 円)

講 師：法政大学大学院政策創造研究科

教授 坂本 光司氏

内 容：

1. 経営者の最大・最高の使命は決断
2. 経営者の最大の仕事は三つ
3. 経営者・管理者が重視すべきは業績ではなく継続

4. 経費には、削減して良いものといけないものがある
5. 次代(時代)は5つの眼で読む
6. 中小企業が決してやってはいけない3つの競争
7. 経営者が重視すべきは、5つの財務指標 他

感動の三部作(第1回)

～みんなの壮大な夢を実現するために～

日 時：7月27日(月) 14:00～16:00

場 所：広島市文化交流会館 (広島市中区加古町 3-3)

会員参加料： 8,700 円

講 師：青山学院大学 陸上競技部 監督 原 晋氏

内 容：

1. 組織に実績が全くなくても、みんなが未来の大きな夢を目指すための言葉
2. チームが勝つための戦略と人間性を重視した選手の育成方針
3. 目的と目標を明確に、そして、本格的な戦う集団を作る
4. 人の育て方に正解はない。窮したら基本に返り、自ら考え改善し続ける
5. 選手の自主性を育み、より良い組織をつくるための「目標管理シート」
6. 落ちこぼれてしまっても、覚悟を決めればチャンスはある
7. 常に新たなビジネスチャンスを探し、より大きな魅力あるコンテンツを探し求める

ロジカルシンキングセミナー

～論理的に考える力を身につけ問題解決～

日 時：8月20日(木) 10:00～17:00

場 所：広島市文化交流会館 (広島市中区加古町 3-3)

会員参加料： 15,400 円

講 師：株式会社セブンフォールド・ブリス

代表取締役 本田 賢広氏

内 容：

1. ロジカルシンキング(論理的思考)とは？
2. ビジネスに論理的思考を活用する
3. 論理的にコミュニケーションするためには？
4. 相手が納得する論理構造と説明の仕方
5. 複雑な問題でも原因を分析すれば問題解決できる
6. 論理的に分析・検討するロジックツリー
7. ロジカルシンキングを使いこなせば仕事力も向上
8. ロジカルシンキングとはリーダーシップそのもの

〈発行〉中国生産性本部

〒730-0041 広島市中区小町 4-33 中電ビル 2 号館 4 階

TEL (082) 242-7972 FAX (082) 242-7973

URL <http://www.gr.energia.co.jp/cpcenter/>